

Makuhari's Memory

これからの成長の糧に!知識と仲間を得た充実の5日間

令和7年10月27日から31日の間、「公共交通とまちづくり」の講義を受講しました。期間は短かったものの、終わってみれば非常に充実した時間で、内容の濃い学びの連続でした。これまで「交通」は単なる移動手段と捉えがちでしたが、講義を通して、地域の暮らしや経済、そしてまちの持続性を支える重要な社会基盤であることを改めて実感しました。

特に印象に残ったのは、「公共交通はインフラであり、地域の福祉や教育、経済活動とも深く結びついている」という視点です。採算性だけでなく、住民の生活の質や地域の将来像を見据えた交通のあり方を考えることの大切さを学びました。また、各地の事例紹介やディスカッションを通じて、行政、事業者、市民がそれぞれの立場から連携して課題を共有し、解決策を見出していく必要性を強く感じました。

演習では、グループごとに課題を設定し、交通とまちづくりの関係性を整理しました。多様な地域からの参加者と意見を交わす中で、自分の地域における課題を客観

的に見つめ直す良い機会となりました。特に、「必要とされる公共交通」をどう維持するかという視点は、今後の業務を進める上での大きなヒントになりました。

今回の講義を通じて得た知識と気づきを、今後の地域交通施策やまちづくりの実践に活かしていきたいと思います。最後に、講師の先生方、運営関係者の皆様、そして共に学んだ受講生の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

桑原 知之

埼玉県日高市
総務部危機管理課交通政策室
交通政策・交通安全・防犯担当主査
〈受講研修科目〉
公共交通とまちづくり
第39期第1組（令和7年度）

